



1 「歯磨きを習慣に」モンゴルの学校に歯磨きコーナー設置

モンゴルのウランバートル市チンゲルティ区にある第39番小学校と第72番小学校に「歯磨きコーナー」が新設され、開設セレモニーが10月6日に行われました。セレモニーには当財団の若林紀男理事長が出席しました。

モンゴルでは、子どもたちに歯磨きをする習慣が定着しておらず、多くの子どもが何らかの歯科疾患を抱えている現状があります。しかし、多くの学校では洗面台がトイレ内にしか設置されていないことが課題でした。そこで、モンゴル米山学友会主導で、トイレとは別の場所に「歯



磨き専用コーナー」を設けることで、子どもたちが歯磨きの習慣を身につけられる環境づくりを進めました。

また、第2610地区米山学友会が初の国際奉仕活動としてモンゴル米山学友会と協働し、このプロジェクトを支援。13日に現地で開催されたセレモニーには、第2610地区学友会会長の範雋偉さん（2015-17／小矢部RC）が出席し、国を越えた学友会同士の交流が行われました。

今後はウランバートル市内の他の学校に歯磨きコーナーを設置する計画が進められています。

2 2026 学年度奨学金申込み状況

10月15日に締め切りを迎えた2026学年度のロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士／地区奨励）には、指定校610キャンパス（前年度586キャンパス、地区を越えた指定校の重複含む）から1,364人（前年1,206人）が推薦されました。被推薦者の国・地域は、中国47.2%（51.4%）、ベトナム12.5%（11.9%）、韓国8.4%（9.3%）、ミャンマー4.6%（2.5%）、ネパール3.7%（3.6%）、インドネシア3.7%

（2.7%）で続いています。

課程別の応募状況は、博士課程15.5%（17.6%）、修士課程35.8%（37.6%）、学部課程45.7%（41.5%）となっており、2019年度以降、学部生の申込みが最も多い傾向にあります。なお、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、8地区18校から計41人（7地区17校39人）の応募がありました。

3 国際交流授業で高校生の異文化理解促進

10月15日、第2750地区米山学友会が東京都立小平高等学校にて、2年生を対象とした国際交流授業を実施しました。

今回の授業には、9人の米山学友が講師として参加。2年生の9クラス、約320人の高校生に向けて、自国の歴史や文化、日本留学のきっかけ、現在の仕事などを紹介しました。登壇した中国出身



講師として参加した米山学友たち

の米山学友の一人は、「なぜ中国・江南地域の伝統的建築は白い壁に黒い瓦なのか」といったトピックを用意し、文化や言語、社会背景を交えて説明。生徒たちは熱心に耳を傾け、普段何気なく抱いていた疑問について質問し、異文化への理解を深める意義ある時間となりました。

4 寄付金速報 — 米山月間のご寄付に感謝！ —

前年同期比

-7.9%

普 -2.2% 特 -11.8%

10月までの寄付金は、前年同期と比べて7.9%減(普通寄付金:2.2%減、特別寄付金:11.8%減)、約4,200万円の減少となりました。

大口寄付および会員数の減少が、特別寄付金の減少につながり、結果として全体の寄付額にも影響を及ぼしています。

今年も残り2カ月を切りました。引き続きご支援賜りますようお願いいたします。

5 3人が紺綬褒章受章 2度目の受章者も

第2630地区(岐阜県・三重県)上野RCの丸山統正氏が、6月21日付で紺綬褒章飾版を受章しました。10月14日の同クラブ例会にて伝達式が行われ、当財団の若林紀男理事長から章記と飾版が伝達されました。丸山氏は2021年5月、当財団としては初となる紺綬褒章を受章され、今回が2度目。当財団への寄付で2度受賞されたのも丸山氏が初めてとなります。

また、第2680地区(兵庫県)芦屋RCの宮本一氏が7月30日付で、第2700地区(福岡県・長崎県・佐賀県)博多イブニングRCの小山田浩定氏が8月27日付で、それぞれ紺綬褒章を受章しました。

紺綬褒章は、公益のために私財を寄付し、そ



2度目の受章となった丸山氏(前列左から5番目)

の功績が顕著な個人または団体に対して天皇陛下より授与される褒章で、当財団は2018年9月に紺綬褒章の公益団体認定を受けています。受章された皆さまに、心よりお祝い申し上げます。

6 横のつながりを強化「ロータリーユースの集い」開催

10月12日、第2790地区(千葉県)の地区大会に合わせて「地区大会ロータリーユースの集い」が開催され、同地区米山奨学生・学友36人のほか、青少年交換留学生、ROTEX、ローターアクトなど、計80人が参加しました。このイベントは、ロータリーの新世代が横のつながりを築くことを目的に発足し、各プログラムに関わる若い世代が一堂に会する貴重な機会です。当



日はアイスブレイクや懇親会を通じて活発な交流が行われ、互いの活動への理解を深めました。

参加した同地区米山学友会事務局長の蘇爾娜さん(2023-25/茂原RC)

は、「ロータリーで展開されている他のプログラムの若者同士が集い、さまざまな国籍や年齢の方々と交流できるこの場は、本当に意義深いものです」と語りました。

米山学友の顔

よねやま親善大使をお招きください

活躍する米山学友の代表として、当事業のあらましや自身の活動、ロータリーと交流し、学んだ経験が人生においてどのように生かされているか等をお話します。現在、第6代よねやま親善大使が活動中です。地区大会や米山セミナー、奨学生のオリエンテーションや歓送会等でのスピーチに、ぜひお招きください。

詳細はこちら

